

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要なときに読めるように大切に保管してください。

# 腰痛 関節痛 筋肉痛

シャクヤク・カンゾウエキス配合

## ペインサール® 顆粒

解熱鎮痛薬 第②類医薬品

### 特 長

- 通常の鎮痛成分のほか、漢方薬でよく用いられるカンゾウ(甘草)、シャクヤク(芍薬)が配合されています。
- 腰痛、関節痛、神経痛、筋肉痛など種々の痛みに対し有効に働きます。
- 生薬独特の味と風味をもつのみやすい顆粒です。



### 使用上のご注意

#### してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください。
  - (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗り物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
4. 服用前後は飲酒をしないでください。
5. 長期連用しないでください。

#### 相談すること



1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
  - (4)高齢者。
  - (5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (6)次の症状のある人。  
むくみ
  - (7)次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精 神 神 経 系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、 のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる

症状の名称	症 状
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしただけでも息切れがする、息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる
ぜんそく	息をすするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
眠気
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

### 保管及び取り扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります)
- 1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- 使用期限の過ぎた製品は服用しないでください。

### 効能・効果

- 腰痛・関節痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・神経痛・頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

### 用法・用量

15才以上1回	1包
11～14才1回	2/3包
7～10才1回	1/2包

1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。

服用間隔は4時間以上おいてください。

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 7才未満の小児には服用させないでください。
- 用法及び用量をお守りください。

### 成分・分量 1日量(3包中) 1包量0.8g

シャクヤク(芍薬)エキス	200mg(原生薬2000mgに相当する)
カンゾウ(甘草)エキス	250mg(原生薬1000mgに相当する)
アセトアミノフェン	900mg
エテンザミド	300mg
無水カフェイン	150mg
アルリソプロピルアセチル尿素	180mg

添加物として、乳糖水和物、リン酸水素Ca水和物を含有します。

### 消費者ご相談窓口

本剤をご使用になり、何かお気づきの点がございましたら下記発売元までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

発売元 **J-ITC 薬品株式会社** 大阪府松原市高見の里4丁目8番16号

お客様相談室：072-331-0417

受付時間：10時から16時まで(土、日、祝日を除く)